

2020年度商品

「SAPPORO AINU PRODUCTS」Vol.1

ストール

早坂ユカ × 株式会社 cloud9

アイヌのアートを、いつものファッションに。
個性豊かなながらも使いやすいアイテム。



KOJIYUKI SORAKOBO



陶器

結城幸司 × 宙工房

アイヌアートと日本の伝統工芸「陶器」を
掛け合わせた新たな試み。

トートバッグ

一般社団法人 札幌大学ウレシパクラブ
× 株式会社 サッポロドラッグストア

アイヌ文様や伝統工芸品からヒントを得たデザインを
日用品として気軽に使えるトートバッグに。



SAPPORO AINU PRODUCTS

Vol. 2

札幌市
アイヌ工芸品作家
× 企業コラボレーション

SAPPORO

札幌市市民文化局市民生活部アイヌ施策課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所13階
TEL 011-211-2277 FAX 011-218-5153

Life with Art and Culture

SAPPORO AINU PRODUCTS LIFE

現代の暮らしの中に息づくアイヌ文化を。

札幌市では

現代の消費者ニーズに沿ったアイヌ関連商品の開発を支援し

アイヌ工芸品ブランドの付加価値を高めるとともに

生産設計やデザイン監理などの商品開発に係る一連のプロセスを

モデルケースとして紹介することで

今後の商品開発の促進につなげていくことを目指しています

このプロジェクトのコンセプト

- アイヌ工芸品の魅力を伝える新しい商品の創出
- 量産型の商品開発による工芸品販売の裾野拡大、安定的な生産体制の確保
- 札幌に拠点を置く事業者とのコラボレーションによる「売れる」ものづくり
- 若い世代の担い手の育成

本プロジェクトで製作したプロダクトは「札幌アイヌデザイン認証」認定品です



札幌アイヌ協会

札幌アイヌデザイン認証制度とは

札幌アイヌ協会とその協力者が望む未来を構築できるプラットフォームとして、商品開発の背景・本質やその製品・サービスにアイヌ民族の声が反映されていることを保証し、他商品との差別化を図るための制度です。多岐にわたるアイヌ民族の文化的財産を世界に向けて幅広く発信し、北海道の地域資源としてのブランディングを進めます。

札幌市南区小金湯27 札幌市アイヌ文化交流センター内
TEL 011-596-1610 FAX 011-596-1611

アイヌ工芸品作家と
企業のコラボレーション。
2021年度は
4つのモデルケースを
ご紹介します。

アクセサリ&キーホルダー

CHIYOMI FUJIOKA

24K

藤岡 千代美

株式会社プライムにてアイヌ関連グッズの
デザインを行うほか、アイヌ文化の普及・
発信、次世代への継承など精力的に活動。

株式会社 24K

2002年に革工房を立ち上げ2012年
会社設立。鞆、小物などのアイテムを展開。
エゾシカ革活用にも取り組んでいる。



24KIRICO

MODEL
CASE

木製食器

MASAHIKO YOSHIMURA

CHIEMOKU

吉村 政彦

アイヌ工芸作家。2018年に自身の工房を
立ち上げ。作品はウポボイ(民族共生象徴空間)
などで販売している。

チエモク 株式会社

1999年より木工に携わり、2008年に会
社設立。北海道産木材を使った木工クラ
フト品の製造・販売を行っている。

Chiemoku

ステーションナリー

MIKA ISHII

SHIORI ADACHI

MORITA

石井 美香

アイヌ刺繍作家。アイヌ刺繍の講師や
アイヌ文化アドバイザーも務める。北海
道アイヌ協会認定優秀工芸師。

足立 詩織

アートディレクター・グラフィックデザイナー。
企業や個人のブランディング、学校広報な
どのデザインを手がけている。

モリタ 株式会社

1932年創業、札幌市白石区の紙箱
パッケージ製造会社。独自の紙箱・紙加
工品を道内はもとより国内外へ展開。

MORITA

ハンカチタオル

URESIPA CLUB

SAPPORO DRUG STORE

一般社団法人

札幌大学ウレシパクラブ

ウレシパは「育てあう」という意味。
様々なルーツを持つ学生たちが一緒に
アイヌ文化を学んでいる。

株式会社

サッポロドラッグストア

札幌市で創業。現在、道内外で
約200店舗のドラッグストアや
調剤薬局を展開。



デザインアドバイザー

「アイヌ工芸品作家のものづくり」と「パート
ナー企業の技術」を現代的デザインと融合し
商品開発を行うアドバイザーとしてMODEL
CASE #1・#3・#4をサポート

石上 光太郎

1974年釧路市阿寒町生まれ、札幌市在住。
アートディレクター・グラフィックデザイナー。母
が白糠出身でアイヌ民族にルーツを持ち、アイ
ヌ文様をあしらった広告物なども制作している。

Kotaro Ishigami

PROCESS

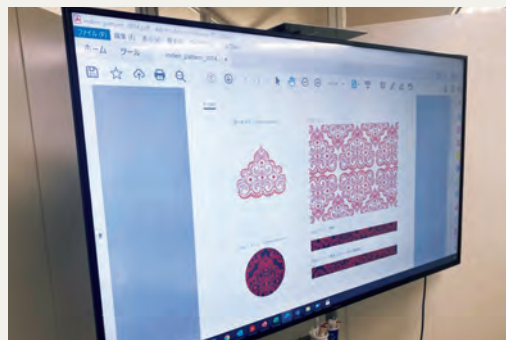
製作過程



STEP 1 顔合わせ・方向性決定

高瀬さんが手がけているエゾシカ革と印伝の技法を用いた製品からヒントを得て、甲州印伝とアイヌ文様の組み合わせに挑戦することを決定。

【甲州印伝とは】 鹿革に漆で模様をつけた日本の伝統工芸品で、山梨の特産品。印伝の名称は江戸時代にもたらされたインドの装飾革に由来するといわれているが、現在製法が伝わっているのは甲州印伝のみ。参考：「印伝の山本」HPより



STEP 2 デザイン検討

藤岡さんが作った数種類のアイヌ文様から1種類に絞り込み、石上さんがグラフィックデータに。漆でアイヌ文様を表現するにあたり曲げた時に漆が割れないよう配慮し、デザイン作成。



STEP 3 サンプル確認

チシボから着想したチョーカーとキーホルダーを製作することに決定。チシボに使われるサビタの木と既存の印伝革で試作を開始。



STEP 4 印伝革の完成～試作品完成

山梨県の「印伝の山本」に発注しオリジナルのアイヌ文様が施されたエゾシカ革の印伝革が誕生。

Advice by Ishigami

デザインアドバイザー 石上光太郎の視点

印伝の特徴を生かしながらアイヌ文様を表現するために、今回はドットを使ったデザインを選択しました。アイヌ文様をドットでデザインするのは初めての経験で苦労しましたが、制約がある中での制作を通じて新しい表現の広がり生まれたと思います。

海外からも注目される
プロダクトづくりを
二つの伝統を掛け合わせて

MODEL CASE #1

アクセサリ & キーホルダー

PRODUCT

完成試作品



アイヌ文化と「印伝」

貴重だった鉄製の針を入れてアイヌ女性が持ち歩いたチシボ（針刺し）から着想したチョーカーとキーホルダー。アイヌと関わりの深い素材を用い、印伝の技法で加工を施した。

Key◇Po (キーポ)

①キーホルダー ②チョーカー

素材／革（エゾシカ）、木（サビタ）、漆 サイズ／50×20mm（チシボ部分）

英語で「鍵」を表すキーと、アイヌ語で「小さな」を表すポを組み合わせたネーミング。

お守りとして、アクセサリ感覚で持ち歩きやすいものにした。

チョーカーは長さの調節が可能。

日本各地の伝統工芸の中で、今回は甲州印伝の技法を使ったエゾシカ革製品を作ることができました。印伝革は輸入の鹿革が主流のため、これまでは野生の鹿革で製作することは難しいとされてきました。北海道で社会問題となっているエゾシカ革の有効活用に取り組んでいる者として、アイヌ文化とのコラボレーションはとても意義深く、かねてからの構想でもありました。アイヌ文化において重宝されてきたエゾシカ革、そしてサビタの木を使ったことで、よりアイヌ文化を受け継いだ製品になったと感じます。

普段は「おいしい、楽しい、かわいい、かっこいい」をテーマにアイヌ文化の発信に取り組んでいます。今回のプロジェクトでは、アイヌの伝統を生かしながらも、とられすぎないことを大切にしました。アイヌ文様を漆で表現するのは初めての挑戦で難しさもありましたが、素材にこだわり、愛着が湧くものができると思います。このアイテムを通じてアイヌ文化を多くの人に知っていただきたいです。このような取組に次世代を担う若いアイヌがもっと参加できるようにしたいと思います。

MODEL CASE #2

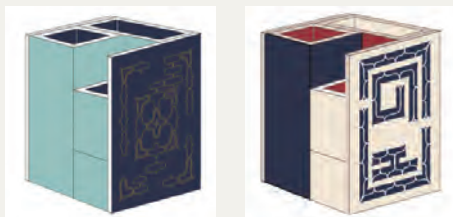
ステーションナリー

PROCESS 製作過程



STEP1 顔合わせ・方向性決定

石井さんのタペストリーを基に、文様の使用方法や特徴を生かしたデザインを足立さんが制作。



STEP2 デザイン検討

ルウンペ、アイウシ、木彫の3種にてデザインを制作。モリタの商品「MiNiMuM Space」と「メモパッド」を製作することに。



【ルウンペとは】木綿の生地に細い白布や色布を切り伏せ、アブリケのように縫い付けた木綿衣のこと。文様のデザインやつけ方などは地域により異なる。

【アイウシとは】衣服や道具につけられる文様のことで、棘がついているのが特徴。



STEP3 サンプル確認

足立さんのデザイン案に石井さんが文様の線やバランスのアドバイスを加え、最終デザインが決定。



STEP4 試作品完成

カラー紙の色を決め、縫い物や木彫の独特な表現を生かせる箔押し加工にて製作。

デスクまわりで活躍するアイテムにアイヌ文様を取り入れて

アイヌの伝統的な刺繍や木彫と、「ミルクラフト」という素材の組み合わせ。プロダクトとして欲しくなる、机に置きたくなるようなものを目指してデザインから印刷・加工までこだわり抜いた製品。

PRODUCT 完成試作品



紙箱のステーションナリー アイヌデザインシリーズ

紙箱収納 MiNiMuM Space 紙箱のメモパッド

①木彫 ②ルウンペ ③アイウシ ④アイウシ ⑤ルウンペ ⑥木彫

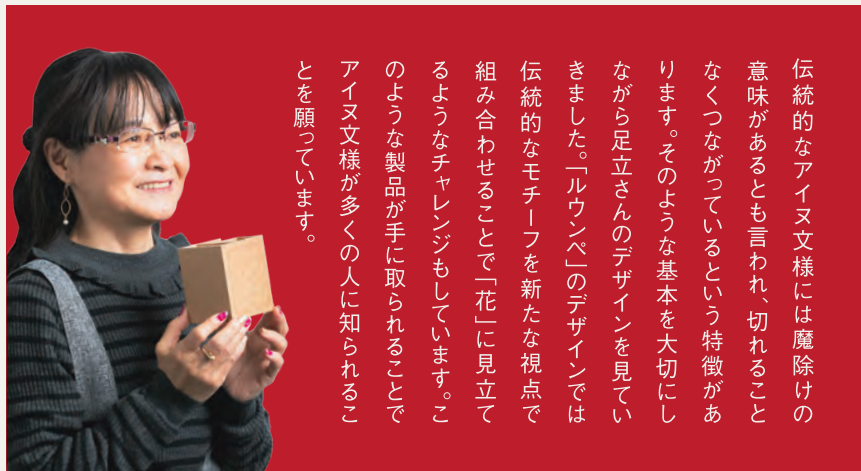
①②③ 素材/ミルクラフト サイズ/7×7×高さ9cm

④⑤⑥ 素材/ミルクラフト サイズ/9×3×高さ9cm

「Vカット加工」という紙箱の特殊加工を生かしたアイテム。牛乳パック・紙バックリサイクル再生紙「ミルクラフト」にカラー紙を貼り合わせた素材は、紙とは思えないほど丈夫。紙箱収納は使用時には左右に開き、使用後は閉じてコンパクトに。箔押し加工でルウンペの縫製や木彫の質感を表現している。メモパッドは丈夫な紙製ケースにオリジナルアイヌデザインのメモ用紙をセット。こちらには箔押し加工を施している。



刺繍作家 石井 美香

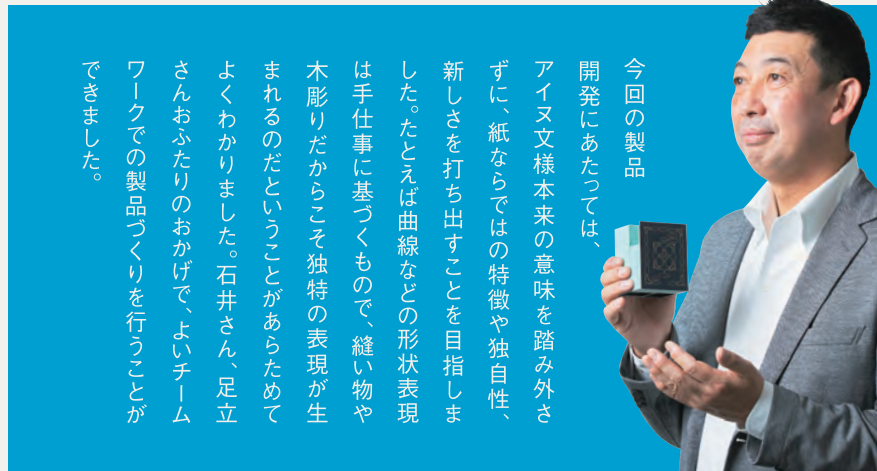


伝統的なアイヌ文様には魔除けの意味があるとも言われ、切れることなくつながっているという特徴があります。そのような基本を大切にしながら足立さんのデザインを見ていきました。「ルウンペ」のデザインでは伝統的なモチーフを新たな視点で組み合わせることで「花」に見立てるようなチャレンジもしています。このような製品が手に取られることでアイヌ文様が多くの人に知られることを願っています。

グラフィックデザイナー 足立 詩織



デザイン着手当初は文化的背景を持つ文様の扱いに慎重になり、なかなか手が動かなかったのですが、伝統を守りながらも遊び心を上手に取り入れてくださる石井さんのアドバイスを受けて、自分自身のアイデアを織り交ぜながらデザインすることができました。アイヌ文様にも様々な表現方法があるのだということを知り、3種のデザインそれぞれで文様の特徴を表現できるように配置や加工を工夫しました。



今回の製品開発にあたっては、アイヌ文様本来の意味を踏み外さずに、紙ならではの特徴や独自性、新しさを打ち出すことを目指しました。たとえば曲線などの形状表現は手仕事に基づくもので、縫い物や木彫りだからこそ独特の表現が生まれるのだということがあらためてよくわかりました。石井さん、足立さんおふたりのおかげで、よいチームワークでの製品づくりを行うことができました。

モリタ株式会社 代表取締役社長 近藤 篤祐

MODEL CASE #3

木製食器

PROCESS 製作過程

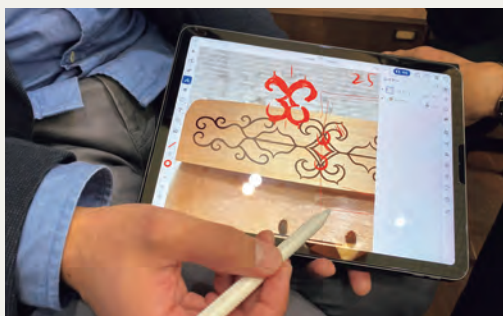


STEP1 顔合わせ・方向性決定

チエモクとデザイナー高橋尚基氏により共同開発された「もりのともだち」シリーズをもとにアイヌ文化とコラボレートした展開を検討。お椀はマタンプシを、プレートはイタをモチーフとしたデザインを進めることを決定。

【マタンプシとは】元々男性が山や川へ狩りへ行く際、髪をまとめるために鉢巻のように頭に巻いていたもの。現代では、女性もアイヌ舞踊を披露する際や伝統儀式に参加する際などに身につける。

【イタとは】アイヌ文様が施されたお盆。地域によって彫り方や文様に特徴があり、木材もカツラやクミミ等様々なものが使われている。



STEP2 デザイン検討

吉村さんが手描きしたマタンプシのデザインを石上さんがデータ化し、細かなニュアンスを詰めていく。お椀への表現方法としてレーザー加工も検討したが、最終的に焼印を製作することに。



STEP3 サンプル確認

イタのデザインは吉村さんの作品を石上さんがデータ化。使用する木材の種類や、鱗彫りを施す角度、深さも細かく議論し調整。レーザー加工を用いて商品製作を実施。



STEP4 試作品完成

試作品を確認しながら、木材の種類や製品化にあたっての細かな調整について検討。

Advice by Ishigami デザインアドバイザー 石上光太郎の視点

吉村さんのアイヌ文様デザインとチエモク三島さんの木材製品に関する知識や技術で、とてもかわいいマタンプシの商品ができて嬉しかったです。イタに関しては(株)シェアデザインの協力のもと、鱗彫などの表現をレーザー彫刻で追求することができました。

テーブルウェアにアイヌ文様を

木のぬくもりあふれる

ファミリーにぴったり

子育て中の

かわいい顔のお椀にはマタンプシ
（アイヌの鉢巻）の、小さなお盆には
イタ（アイヌのお盆のデザイン）を。
暮らしの中で自然とアイヌ文化
に触れることができる製品です。

アシリ ウタラ*

子ども用お椀…素材/木(ハンノキ) サイズ/直径8.4×高さ4.5cm
子ども用お盆…素材/木(シラカバ) サイズ/20×15×高さ2.5cm

子ども用のかわいらしいお椀とお盆のセット。
お椀には焼印で、お盆にはレーザー加工で
アイヌ文様を施しています。

木エクラフトに長く携
わってききましたが、アイヌ
文様を扱うのは初めてで
した。アイヌ文様の木彫
と一口に言っても作家さん
によってかなり個性があ
るのだということなど、興
味深い発見がたくさんあ
りました。これをプロダク
トとしてだけではなく、
背景にある物語なども含
めたコンテンツとして発
信していくことができれ
ば、よりいっそうアイヌ文
化への興味や関心を深め
てもらえるのではと考え
ています。

PRODUCT 完成試作品



チエモク株式会社 代表取締役社長 三島 千枝



木彫作家 吉村 政彦



アイヌに伝わる伝統の中
の美しさや文化に触れて
もらい、興味を持ってもら
えるキッカケに少しでも
なればという思いからこ
のプロジェクトに参加し
ました。普段は自分ひと
りで制作することがほと
んどですが、チームで協力
して制作するのは楽し
かったですし、試してみた
アイデアも次々と浮か
んできて、時間が足りな
かったほどです。今後、い
るんな業種の方と「コラボ
レーション」するのも面白
そうですね。想像してい
た以上のものが作れたと
思います。

MODEL CASE #4

ハンカチタオル

PROCESS

製作過程



STEP1 顔合わせ・方向性決定

製作する商品を選定。企業からのアドバイスもあり多くの方が利用するハンカチタオルに決定。学生によるデザインのベース案の作成。



STEP2 デザイン検討

学生がそれぞれ手描きしたデザイン案を石上さんがグラフィックデータに起こしデザインの色や線の太さ、全体のバランスを調整。



STEP3 サンプル確認

1つのデザインで何色かのデザインを制作。最終的に試作品として制作するデザインを選定。



STEP4 試作品完成

6人・6種類のデザインで試作品が完成。

Advice by Ishigami

デザインアドバイザー 石上光太郎の視点

学生たちのデザインに対する思いやこだわりなどを尊重して、より良いものを作ることを心がけました。どの学生のデザインも個性的かつ自由な発想を持っていて、とても感銘を受けました。身の回りのものをデザインする喜びや楽しみ、難しさを感じてもらえたのではないのでしょうか。

次世代の
担い手の自由な発想が
暮らしに映える
プロダクトへ

「自分たちが欲しくなるアイテム」を目指して。
アイヌ文化をベースに学生たちがデザインした、
使いやすい持ち歩きやすいハンカチタオル。

PRODUCT

完成試作品



ピリカノピリパ*

素材／表面：ポリエステル 裏面：綿 サイズ／25×25cm *ピリカノはよく・きちんと・きれいに、ピリパは拭う(複数形)という意味

アイヌ文化をベースにしながらも6人の自由な発想でデザインを施したハンカチタオルです。

- ①アイヌ文化と関係の深いエゾシカを、アイヌ文様を使いながらデザイン(金澤)
- ②アイヌ文様に見られるハートの形を生かして、多くの人の目にとまるように(大澤)
- ③アイヌの儀式で使われる道具・イクパスイのデザインがモチーフ(岸)
- ④アイヌの伝統的な食料・オオウバユリがモチーフ。葉の形はアイヌ文様がヒント(後藤)
- ⑤アイヌ衣装の女の子や動物たちが、みんなで夜空を眺めているデザイン(豊岡)
- ⑥刺繍のアイヌ文様をベースに、手縫いらしさを感ぜられるよう縫い目の表現を工夫(今井)

どんな製品を開発するか検討を重ね、デザインが生かせる点と年齢に左右されず多くのお客様に手にとっていただけるという点でハンカチタオルに決めました。通常、ハンカチタオルはシンプルなデザインが主流ですが、ウレシバクラブ6名のデザインはバリエーションが非常に豊富で、アイヌ文様やアイヌ文化を生かしながらのデザインに驚きました。今回のプロジェクトを通じてアイヌ文化の継承や普及に弊社も携われるということを楽しんでいます。アイヌプロダクトの広がりのきっかけになればと願っております。



株式会社 サツポロドラッグストア

自分の好きなものを、伝統にとらわれず自由に作ることを意識しました。6枚それぞれ面白いものができたと思います。(金澤)

デザインのために様々な資料を調べる中で、アイヌ文様や刺繍の奥深さを改めて知ることができました。(大澤)

サイズに合わせたデザインや色合いについてなど、様々な角度から商品づくりを考えることが楽しかったです。(岸)

手に取って使いやすい商品が、アイヌ文化に興味のある方はもちろん、そうでない方にも広がっていけば嬉しいです。(後藤)

自分のこだわりたい部分を大切にしながら、アイヌ文化を知らない方にも親しんでいただけるデザインを目指しました。(豊岡)

アイヌ文様をできるだけそのまま生かして、アイヌの手仕事を思い起こさせるデザインになればと考えました。(今井)



一般社団法人
札幌大学ウレシバクラブ
金澤 真直・大澤 亜美香・岸 愛香
後藤 小華・豊岡 宇伊・今井 とわ